



答弁中の中嶋町長

ここが聞きたい!!

一般質問



柴田 真人 議員

町道の拡大

大型開発と併せて

■問 乙植木～平原線は、今まで二期にわたり工事をなされました。しかし、残りの高速までの間が狭く、最近では車も多くなり対向車が来ると待たなければならぬ状態です。なんとか拡大を。

■答 中嶋町長
第一期工事を平成十年、第二期工事を平成十四年度に行っており、第三期工事は費用等の問題により断ち切れ状態になっています。

■問 乙植木～平原線は、今まで二期にわたり工事をなされました。しかし、残りの高速までの間が狭く、最近では車も多くなり対向車が来ると待たなければならぬ状態です。なんとか拡大を。



二期工事で断ち切れになっている乙植木～平原線

しかし、平成十八年に当地区の大型開発がテールに上がりそうになり、その時点で道路改良しようという運びになりましたが、開発が白紙に戻り、話も断ち切れになったという経緯があります。

第三期工事を行おうと設計を始めた時は、工事長一八〇メートルで当時の価格で約八千万円かかるということであつたため、これを何とか単独事業ではなく補助事業に乗せたいと、担当課も相当努力を行いました。補助事業としては該当しませんでした。

十八年の開発進出計画後、二度ほどその地区での開発の希望が出ていましたが、いずれも断ち切れの状態です。

しかし、今後その地区への大型開発が進むことが予測されますので、その時に併せて官と民が一体となった形で道路改良を行っていきたく考えています。



稲永 信英 議員

■問 学校の自主性・自立性を高め、学校が地域住民の信頼にこたえるため学校評議員制度の充実を図るとともに、学校の評価システムの確立、経営責任の明確化。家庭や地域に対する説明責任に努めると教育施策要綱にあるが次のことを尋ねたい。

① 評議員制度について
② 教職員による自己評価について
③ 保護者・地域住民による外部評価の内容と結果の公表について
④ 全国（県単独）一斉学力テストの実施結果の公表について
⑤ 今後の課題と改善策について

■答 東教育長
① 学校評議員は、一人一人がそれぞれ校長の求めに応じて学校運営に意見を述べますが、必要によっては学校長は評議員全員を一堂に集め、学校経営方針の説明をしたり、学校運営についての意見や要望などを求めたりする合同評議員会を開くこともあります。

各学校では年に二～三回程度合同評議員会が開催されており、その内容・結果等については保護者また教育委員会の方に報告があつています。

② 教職員の自己評価については、十七年度から試行的に導入されており十九年度から本格実施となりました。

理職による業績評価とが相乗効果を生み、教職員の資質向上が図られ、信頼される学校運営がなされることを期待しています。

③ 保護者・地域住民による外部評価の内容と結果の公表については、制度としての実施ではなく、文部科学省が示す学校評価ガイドラインを踏まえ、それぞれの学校に合った独自の方法で実施していただいています。

各学校の独自性を尊重しながら、学校が改善の努力と説明責任を果たすよう助言していきます。

④ 学力学習状況調査の結果の公表について、粕屋地区内では各学校が全国および県の平均正答率より上に位置しているか下

に位置しているか、また具体的に各教科のどの分野が達成されて、どの分野が達成されていないのか、その部分を示す程度にとどめておこうということと統一しています。

⑤ 課題と改善点として、評議員の貴重な意見・要望を学校運営に十分反映させていくためには、施設整備など予算の問題がありますので、町当局と相談しながら一層効果的に進められるよう努めていきたいと考えています。

また、学校の使命は学力をつけることであると同時に、他の人たちとの共生・共同生活・人間関係を深める、そういう豊かな心を育てていかなければならないと校長会にお願いしたところです。

地域に開かれた学校づくり

豊かな心を育てていく